

## 研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者<sup>※</sup>の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<b>&lt;研究課題名&gt;</b> 免疫易感染患者の喀痰培養における <i>Nocardia</i> 属菌検出向上のための前向き研究
<b>&lt;研究機関・研究責任者名&gt;</b> 日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査部 (研究責任者) 谷道 由美子
<b>&lt;研究期間&gt;</b> 承認日～西暦 2024 年 12 月 31 日
<b>&lt;対象となる方&gt;</b> 承認日～西暦 2024 年 12 月 31 日の期間に喀痰培養が提出された患者さんのうち、免疫易感染状態の定義に当てはまる方を対象とします。
<b>&lt;研究の目的&gt;</b> <i>Nocardia</i> 感染のリスク因子は、免疫抑制剤の長期使用、高齢者、リンパ網内系腫瘍、臓器移植、肺の基礎疾患などです。発育が緩慢な <i>Nocardia</i> 属菌は、培養を 1 週間程度延長する必要がありますが、 <i>Nocardia</i> 属菌を疑う菌が確認できない限り、延長培養は行われません。 <i>Nocardia</i> 感染の見逃しを防止するために、当院臨床検査部では、ハイリスク患者さんから提出された喀痰培養検体を用い、積極的な検索を行うことで検出率に変動があるか、また <i>Nocardia</i> 感染を疑うべき患者さんの特徴について検証を行います。
<b>&lt;研究の方法&gt;</b> 対象となる患者さんから膿性の喀痰が提出された場合、通常的一般細菌培養と同時に <i>Nocardia</i> 用の選択培地を追加し 2 週間の延長培養を行います。 <i>Nocardia</i> 属菌が発育した場合には、主治医に追加報告を行うとともに、患者さんの基礎疾患や使用薬剤 (ステロイドや抗菌薬)、画像データ、採血データなどを解析し、延長培養が必要な患者さんの特徴について検証します。
<b>&lt;研究に用いる試料・情報の項目&gt;</b> 臨床検査部・細菌検査室に提出された喀痰の残検体を使用します。
<b>&lt;お問い合わせ窓口&gt;</b> 日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1) 臨床検査部 氏名: 谷道 由美子 電話: 03-3972-8111 内線: 3985 (PHS) 8820

※研究対象者とは、以下に該当する方 (死者を含む。) を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方